

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ)本書のご提示がない場合
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	HDMI端子付DVDプレーヤー			★お買い上げ日:	年	月	日
型番	DVD-189Z	品番	07-0189	保証期間: 本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	★お名前 様						
	★ご住所 〒 ー						
	電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	印						

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

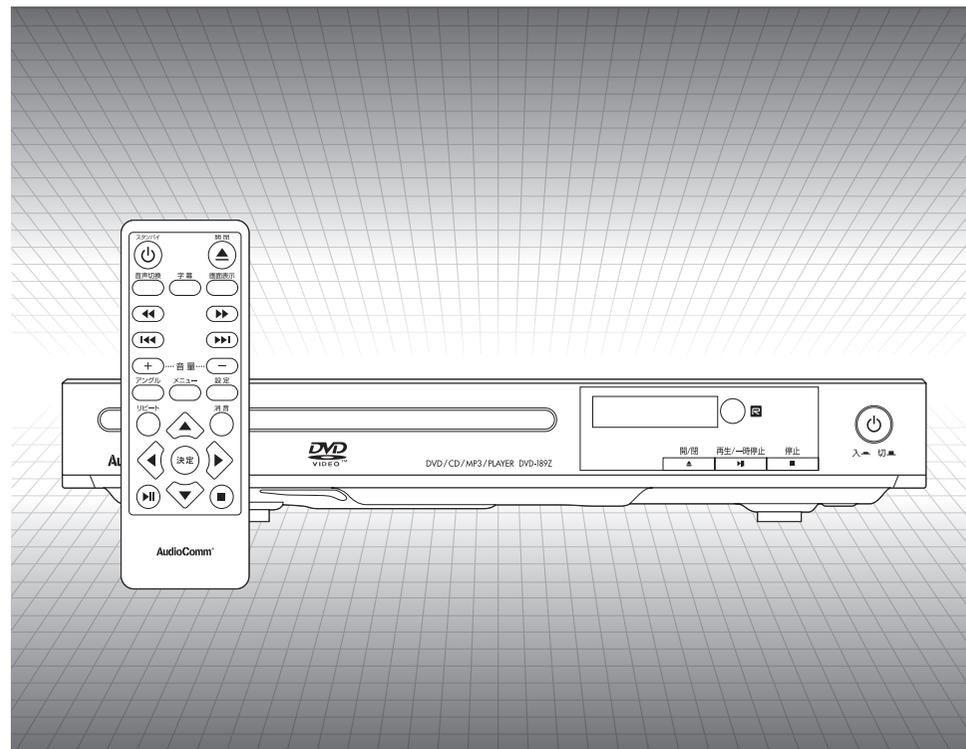
07-0189A

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

HDMI端子付DVDプレーヤー

型番: DVD-189Z
品番: 07-0189



このたびは、AudioComm® HDMI端子付DVDプレーヤーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

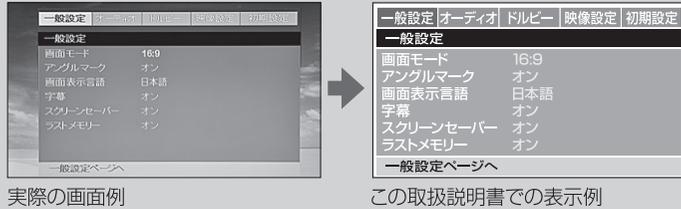
本製品及びこの取扱説明書をご利用いただくにあたって以下のことをご理解ください。

免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- 取扱説明書(本書)を守らないことによって生じた破損、故障、その他の損害
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常
- 落下、衝撃、圧力、負荷などの外的要因や火災、地震、落雷、風水害などの自然災害、消耗・劣化による本製品の故障
- 関連装置との互換性や、記憶媒体・データの状況によって生じた本製品の利用機会の損失

本書で使用している画面表示の図版について

画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異っております。あらかじめご了承ください。



DVDの規格について

本取扱説明書はDVDの基本的な説明をしています。DVDは規格によって生産、販売されており、使い方を間違えると操作に反応しないことがあります。使い方を間違えないよう本書をよく読んでいただくことが重要です。再生中、操作ボタンを押すと、⊘のマークが表示されることがあります。そのようなとき、その操作は本機またはDVDディスクによって無効を意味しています。



無効マーク

- ボタンを押し、無効マークが出たら、その画面での操作は無効です。画面が変わってから再度操作してください。
- DVD以外のディスクでは操作に制限があります。

著作権について

放送やレコードその他の録画・録音物(DVD、ビデオ、ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

磁気や電磁障害について

磁気の影響を避けるため、磁石や磁石を使用した機器を本製品に近づけないでください。また、電磁波の影響を避けるため、携帯電話や電磁波を発生する機器を本製品に近づけないでください。磁気や電磁障害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

ご注意

安全にお使いいただくために 3

はじめに

付属品をご確認ください 6	ご使用になれるメディアについて 7
電源について 6	各部の名称 10
ご使用前の注意 6	リモコンの使い方 12

接続

テレビとの接続方法 13
オーディオ機器との接続方法 14

映像を観る

映像再生時の基本操作 15	音声切換 18
早送り・早戻し 17	画面表示 18
スキップ(▶▶/◀◀) 17	字幕 18
消音 17	メニュー 19
リピート 17	アングル 19

音楽/音声を聴く

音楽/音声再生時の基本操作 20	リピート 24
早送り・早戻し 23	音声切換 24
スキップ(▶▶/◀◀) 23	画面表示 24
消音 23	

画像を見る

画像再生時の基本操作 25

設定

セットアップメニューの概要 27	ダイナミックの設定方法 32
画面モードの設定方法 28	HDMI 解像度の設定方法 33
アングルマークの設定方法 29	画質設定(シャープネス)の操作方法 33
画面表示言語の設定方法 29	画質設定(明るさ)の操作方法 34
字幕の設定方法 30	画質設定(コントラスト)の操作方法 34
スクリーンセーバーの設定方法 30	音声設定の操作方法 35
ラストメモリー(レジューム機能)の設定方法 31	字幕設定の操作方法 35
ダウンミックスの設定方法 31	メニュー言語の設定方法 36
デュアルモノの設定方法 32	初期化の操作方法 36

リファレンス

故障かなと思ったら 37
用語解説 39
主な仕様 40
お手入れのしかた 40
よくあるご質問 40
保証書とアフターサービスについて 41

保証書 裏表紙

安全にお使いいただくために

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって二段階に表示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意 この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

 △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)

 ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)

 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

警告

日本の家庭用電源で使う
電源コードのプラグは、家庭用コンセント(AC 100V 50 / 60Hz)につないでください。海外などの異なる電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

電源コードやプラグを傷つけない
電源コードやプラグの損傷による火災や感電を防ぐため、次のことをお守りください。
・電源コードやプラグを加工したり、傷つけたりしない。
・無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、引っ張ったり、挟んだり、束ねたりしない。
・電源コードの表面のビニールを熱器具に近づけたり、加熱しない。
・電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜く。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因となることがあります。

電源プラグは定期的に掃除、点検する
電源プラグは差したままにせず、定期的に点検し、付着したホコリや汚れなどを拭き取ってください。汚れにより発熱し、火災の原因となることがあります。

業務用途には使わない
過負荷による故障の原因となり、火災や感電のおそれがあります。

本体を修理、改造しない
火災、感電の原因となります。

警告

電源コードが傷んだときは、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。
自動車、船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

本機内部に異物や水分を入れない
金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると感電や火災の原因となります。
・ディスクトレイなどから金属や燃えやすいものを内部に差し込んだり落とし込んだりしない。
・本機の上に水の入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)や小さな金属類(クリップや針、コイン、安全ピンやヘアピンなど)を置かない。
・水がかかるとような場所(風呂場、台所・洗面所など)では使用しない。特に窓際で使用する場合、雨天時や降雪時または結露などに注意する。

雷が鳴りだしたら、電源コードやプラグに触れない
感電の原因となります。

次のような症状が見つかったら
・異常な音やにおいがする、煙が出ている。
・内部に水や異物が入った。
・本機を落とした、本機の一部を破損した。
・正常に動作しない。
・電源コードやプラグに傷がある。

電源を切り、電源コードを家庭用コンセントから抜き、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに修理をご依頼ください。

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

雨天時や降雪時の屋外、海岸、水辺など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

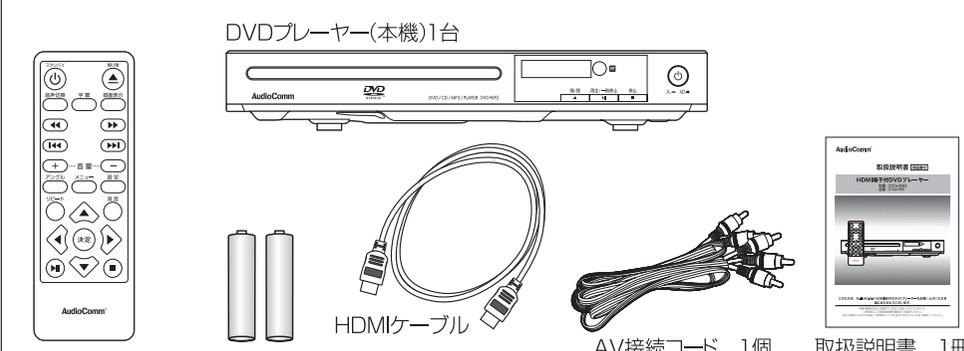
車の中で使わない
本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。また、自動車内に放置しないでください。車載で使用した場合、車特有のノイズを拾い、音声や画像が乱れます。窓を閉め切った自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故のおそれがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。市販されている電源コンバーターなどを使って本機を使用しないでください。

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところにおかない
感電やケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

 禁止	<p>安定した風通しの良い場所に置く 置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇による発火やけが、感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐらつく台や傾いた台、毛足の長い絨毯や布団等の不安定なところに置かない。 ・湿気やほこりの多い場所、湿気や油煙が当たるところに置かない。 ・暖房器具のそばや、直射日光が当たる場所等、高温になるところに置かない。 ・布をかけたり、密閉したラック等の中に入れない。 ・振動の強い場所に置かない。 ・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所に置かない。 ・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所に置かない。
 プラグを抜く	<p>安全のため家庭用コンセントから電源コードのプラグを抜く 旅行等でしばらく使わない場合やお手入れをする場合、本機を移動させる場合は、火災や感電の思わぬ事故を防ぐため、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。</p>
 禁止	<p>温度が高くなる場所に放置しない 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。</p>
 強制	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全な場合、感電の危険や加熱等により火災の原因となります。</p>
 禁止	<p>ディスク挿入口に手を入れない けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
 禁止	<p>本機の上に重いものを置かない、乗らない 倒れたり壊れたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
 禁止	<p>異物を入れたり、差し込まない 各端子の接続部などに異物を入れたり、差し込まないでください。故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>ディスク再生中は本機を絶対に動かさない 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を動かすと、中のディスクを傷つけたり、破損するおそれがあります。</p>

■ 付属品をご確認ください



DVDプレーヤー(本機)1台

リモコン 1個 リモコン用単4形乾電池 (動作確認用) 2本 HDMIケーブル AV接続コード 1個 取扱説明書 1冊

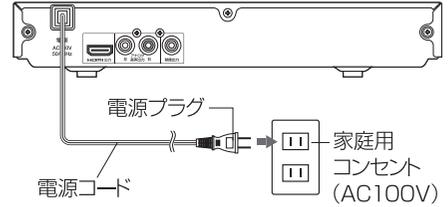
※改造に関するご質問には、お客様の安全のため回答できませんのでご了承ください。

■ 電源について

必ず家庭用電源でご使用ください

- 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。
- 本機を長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。

 電源プラグを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください



電源プラグ 電源コード 家庭用コンセント (AC100V)

■ ご使用前の注意

- ◇本機は、停止状態が約3分間続くと、自動的にスクリーンセーバーモードになります。その後、さらに約7分経つとスタンバイ状態になります(セットアップメニューの画面を除く)。
- ◇本機にディスクをセットすると自動的に読み込みを開始し、画面にタイトルなどが表示されます。自動再生せずに静止画を表示し続けると、モニター画面が画像焼けを起こし、ダメージとなることがありますので、再生/一時停止ボタンを押して画像を動画にしてください。静止画状態の場合、自動的に約3分でスクリーンセーバーモードに入ります(セットアップメニューの画面を除く)。
- ◇本機の音量調節機能は、本機からの音量出力レベルを調節するものであり、テレビ自体の音量を調節するものではありません。
- ◇音量はテレビ側と本機側のどちらでも調節できますが、本機側の音量が小さい状態でテレビ側の音量を大きくすると、通常の放送受信に戻ったとき、突然大きな音が出るおそれがありますのでご注意ください。
- ◇DVDではチャプターとチャプターの間、CDでは曲と曲の間に、映像や音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- ◇本取扱説明書内の本機画面のイラスト(マークや文字、それらの表示位置、内容など)が、再生するディスクによって一部異なる場合があります。
- ◇キズ、汚れ、ディスク作成時の状態などによって、ディスクが正しく読み込めない場合があります。その場合は「不明ディスク」等と画面に表示され、ディスクの読み込みは自動的に停止されます。

ご使用になれるメディアについて

再生可能ディスク

本機で再生可能なディスクは以下の通りです。

ディスクタイプとマーク	記録内容	ディスクサイズ
DVD-Video DVD±R/RW 	映像 + 音声 (主に映画)	12cm
AUDIO CD CD-R/RW 	音声 (音楽) WMA/MP3 画像 JPEG	12cm 8cm (シングルCD)

※本機で再生可能なディスクは、直径12cmのDVDと直径8 / 12cmのオーディオCD、MP3またはJPEGデータを記録したCD-R/RWのみです。これらのディスク以外は再生できません。

※お客様が作成したディスクは、書き込みスピード、書き込みソフト、編集方法、メディアの質などにより、再生できない場合があります。

本機ではCPRM対応のDVD-R、DVD-RWディスクを再生することができます。

※読み込みの時間が約30秒かかります。

CPRMとは？

・CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。デジタル放送は著作権保護のためにコピー制限(例:「ダビング10」=録画した番組を、他のデジタル機器に9回までコピー(ダビング)することが可能で、10回目はムーブ※(移動)のみ可能。すべての番組がダビング10で放送されているわけではありません)があります。DVDに番組を記録する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダー(HDD搭載モデルを含む)とCPRMに対応したDVDメディアを使うことで初めてコピー制限のある放送をDVDメディアに録画することができます。また、再生機器もCPRMに対応している必要があり、CPRM対応DVDメディアに記録した映像を他のDVDプレーヤーで再生する場合は、CPRM対応製品である必要があります。本機はCPRM対応製品です。

※他のデジタル機器やメディアにコピーすると、元映像が消去され、画像が移動したかのように見えるので、これを「ムーブ」と呼んでいます。

コピー制限の著作権保護がかけられたデジタル放送は、VRモードでしかメディアに記録できません。

ビデオモード、VRモードとは？

ビデオモード、VRモードとは、ともにDVDディスクの記録方式のことで、次の違いがあります。

ビデオモード	市販の映画ソフトなどの「DVDビデオ」に似た記録方式で、いろいろなDVD機器で再生することを目的としたモードです(互換性=高)。
VRモード	ビデオレコーディングモードの略で主にディスク内で編集するためのモードです。

DVDにおいてはCPRMへの対応はVRモードしか認められていないため、結果的にCPRMに対応しているDVDメディアは必ずVRモードにも対応していることになります。

●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)



規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証はいたしかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。

なお、「コピーコントロールCD」の詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

●本機はDVDビデオフォーマットに準拠したマクロピジョン方式のコピーガードに対応しています。



マークはDVDビデオディスクの統一マークです。



マークは音楽用CDの統一マークです。

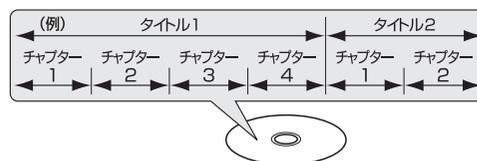
本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY・ドルビー・及びダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。DVDは商標です。

ディスクの構成について

DVD 

DVDビデオディスクは「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

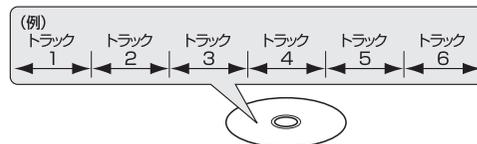
・「タイトル」とは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとを指します。
・「チャプター」とは、タイトルをさらに細かく分けたものです。



音楽用CD 

音楽用CDは、「トラック」で区切られて構成されています。

・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとを指します。

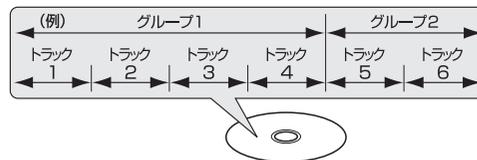


CD-R/CD-RW (JPEGファイル形式) 

JPEGファイル形式のデータは「グループ(フォルダー)」と「トラック(ファイル)」に区切られて構成されています。

・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の写真を収めたCD内の、一枚一枚の写真を指します。

・「グループ(フォルダー)」とは、いくつかのトラック(ファイル)をまとめたものを指します。



リージョンコード(国番号)について

本機のリージョンコードは「2」です。この番号は日本を含めたヨーロッパ、南アフリカに割り当てられた番号で、DVDディスクの規格です。ディスクをお買い上げの際は、このリージョンコードを確認してください。「ALL」と「2」(または「2」を含むもの)が表示されたディスクの再生が可能です。



このマークはDVDビデオディスクまたはパッケージに印刷されています。

再生できない主なディスク

下記のディスクは再生できません。

- リージョンコードが「2」「ALL」以外のDVD
- DVD-ROM
- Video-CD
- DVD-Audio
- BD(ブルーレイディスク)
- CD-I
- CD-G(CDグラフィクス)
- SACD(ハイブリッドディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません)
- 特殊な形状のディスク(ハート形や八角形など: 故障の原因となります)
- CD-ROM
- DVD-RAM
- PD
- HD DVD
- CVD

※8cmアダプター(音楽用CD用)は使わないでください。故障の原因となります。

※記録領域が少ないディスク(直径55mm以下)は再生できない場合があります。

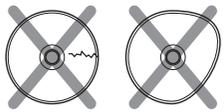
※ファイナライズ済みのCD-R、CD-RWディスクの再生は可能ですが、書き込みスピード、書き込みソフト、メディアの質などにより読み込めないことがあります。必ずCD-DA規格で、MP3、JPEGのいずれかのフォーマットで書き込んでください。

※ファイナライズ済みのDVD-R / DVD+R / DVD-RW / DVD+RWディスクの再生は、一般的な範囲で使用可能です。書き込みソフト、編集方法、メディアの質などによりさらに再生の確率が低下することがあります。必ずDVD VIDEO規格で書き込みファイナライズ処理を行ってください。

※DTS(Digital Theater Systems)でのみ録音されているディスクは再生できません。

ご使用になれるメディアについて(つづき)

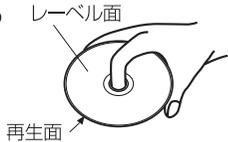
ディスク使用上での注意点



ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。再生中、ディスクはプレイヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

ディスク取扱い上の注意

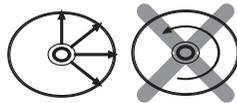
- 再生面に触れないように持ってください。



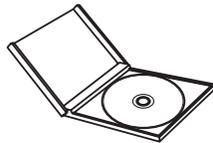
- 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



- ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。



- 長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



ファイル形式などに関する制限事項

【共通事項】

- 多くの階層を持つメディアは再生が始まるまでに時間がかかります。読み込みを速くするには、以下を参考にしてください。
 - ・メディア内の階層は5階層までにする。
 - ・メディア内のファイル数は1000以下にする
- ファイル名が長いとすべてを表示できない場合があります。

【映像ファイルについて】

- 最大解像度：720(横)×480(高さ)ピクセル
- ファイル形式：MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4
- MPEG-4形式の映像ファイルでも、ファイルによって再生できない場合があります。また、以下の場合も再生できない場合があります。
 - ・2つ以上のファイルを結合した映像ファイル
 - ・最大解像度を超える大きさの映像ファイル
 - ・1GB以上の映像ファイル
 - ・3時間以上の映像ファイル
- データCD上の高ビットレートの映像ファイルは滑らかに再生できない場合があります。データDVDの使用をおすすめします。
- 映像ファイルによっては、映像が乱れたり、音飛びがするなど、滑らかに再生できないことがあります。そのようなときは低いビットレートでファイルを作成することをおすすめします。それでも音声が乱れる場合は音声形式が適切であるか確認してください(MPEG-4ビデオ形式の場合はAAC LC形式)。

- MPEG-4 AVCの映像ファイルは再生できません。
- GMC (Global Motion Compensation) や Qpel (Quarter pixel) で記録された映像ファイルの再生は保証しておりません。

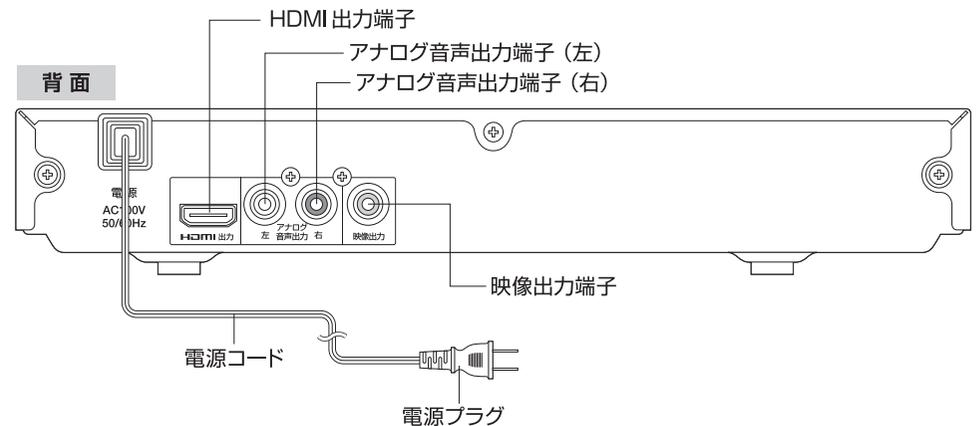
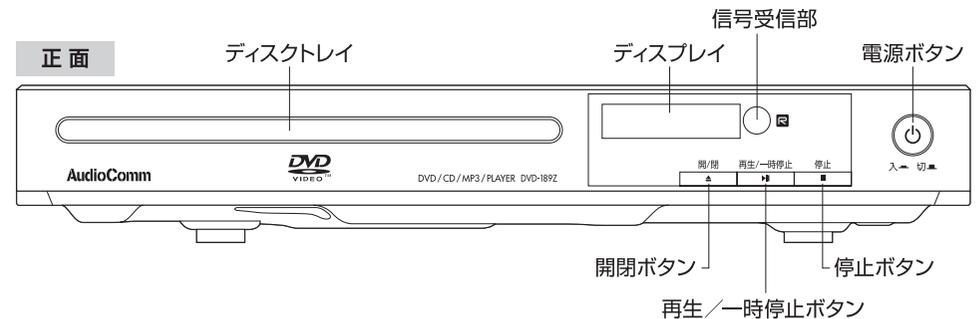
【MP3、WMAオーディオファイルについて】

- ファイル形式：.wma、.mp3
- サンプリング周波数：22.05~48kHz(WMA)
8~48kHz(MP3)
- ビットレート：32k~192kbps(WMA)
8k~320kbps(MP3)
- コピープロテクト(DRM)のあるファイルは再生できない場合があります。
- WMA及びAACオーディオフォーマットは再生できない場合があります。

【静止画像ファイルについて】

- ファイル形式：.jpg、.jpeg
- 推奨サイズ：4000×3000×24ビット/ピクセル以下
- プログレッシブ、ロスレス圧縮した画像ファイルはサポートしておりません。
- JPEG画像ファイルによっては、再生できない場合があります。

各部の名称



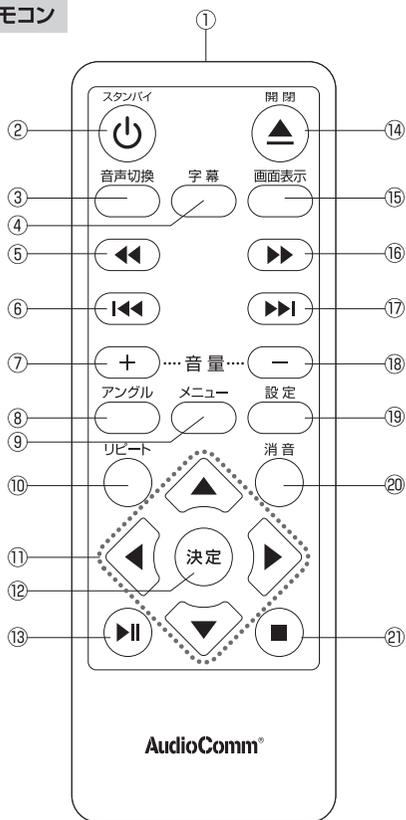
ディスプレイの表示



ご注意 再生時の経過時間は「59：59」まで表示され、1時間を超えると「00：00」に戻ってカウントされません。1時間を超える「時」は表示されません。

各部の名称(つづき)

リモコン

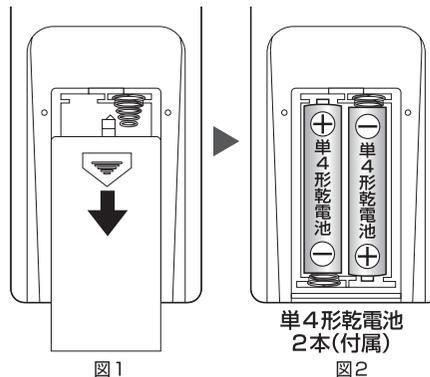


- ① 信号送信部
この部分を本機の信号受信部に向けて操作してください。
- ② スタンバイボタン
電源の入/切を行います。
- ③ 音声切換ボタン
お好みの音声言語を選択します(対応ディスクのみ)。
- ④ 字幕ボタン
字幕を切り換えます(対応ディスクのみ)。
- ⑤ 早戻しボタン
早戻しをします。押すたびに早戻しのスピードが変わります(最大32倍まで)。
- ⑥ スキップボタン(⏮)
再生中または一時停止中に押すと、一つ前のチャプター(トラック)に戻って再生を始めます。
- ⑦ 音量ボタン(+)
本機からテレビへの音声出力レベルを上げます。
- ⑧ アングルボタン
アングルを切り換えます(対応ディスクのみ)。
- ⑨ メニューボタン
タイトルメニューを表示します(対応ディスクのみ)。
- ⑩ リpeatボタン
繰り返し再生をします。
- ⑪ カーソルボタン(▲▼▶◀)
画面に表示されている項目を選択する場合など、カーソルを移動させるときに使います。
- ⑫ 決定ボタン
選択を確定させるときに押します。
- ⑬ 再生/一時停止ボタン
再生を開始します。再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生を再開します。
- ⑭ 開閉ボタン
ディスクトレイを開閉します。
- ⑮ 画面表示ボタン
再生しているディスクの情報を表示します。表示内容はディスクにより異なります。
- ⑯ 早送りボタン
早送りをします。押すたびに早送りのスピードが変わります(最大32倍まで)。
- ⑰ スキップボタン(⏭)
再生中または一時停止中に押すと、次のチャプター(トラック)にジャンプして再生を始めます。
- ⑱ 音量ボタン(-)
本機からテレビへの音声出力レベルを下げます。
- ⑲ 設定ボタン
セットアップメニューを表示します。
- ⑳ 消音ボタン
一時的に音声を消します。もう一度押すと元に戻ります。
- ㉑ 停止ボタン
再生を停止します。

リモコンの使い方

リモコンに電池を入れる

1. リモコン背面の電池ぶたを矢印の方向に押しながら引き下げて開けます。
2. 付属の単4形乾電池(2本)を極性(⊕⊖)に注意しながら図2のように正しく入れます。
3. 電池ぶたを元通りにしっかりと閉めます。



乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

警告

●乾電池が液漏れしたとき

万一液が漏れたら、液をよく拭き取る。液が皮膚や衣服に付着した場合は、大量の水で洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。

●機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れてください。

●充電しないでください。

●火の中に入れてください。

●ショートさせたり、分解、加熱しないでください。

●火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

●水などで濡らさないでください。風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

注意

●使いきった乾電池は取り外してください。また長時間使用しないときも乾電池を取り外してください。

●新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。

●乾電池を携帯、保管するときは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒にはしないでください。ショートしたり、液漏れして損傷の原因となります。

使用済みの乾電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

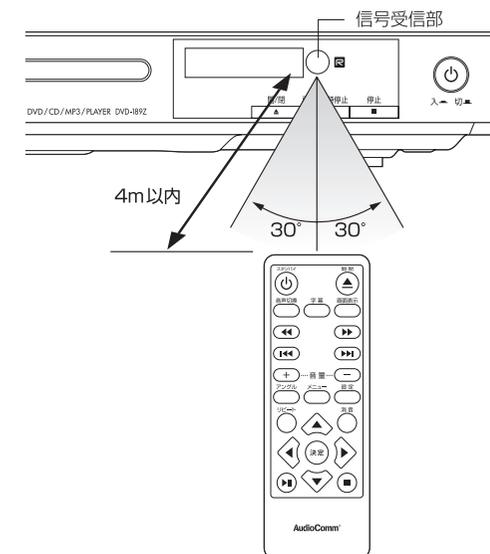
リモコンによる操作

- ・リモコンの信号送信部を本機の信号受信部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は、本機の信号受信部から上下左右30度以内、4m以内です。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなったり、使用範囲がさらに狭くなる場合があります(新品の乾電池の場合)。
- ・直射日光が当たる場所での使用は避けてください。誤作動したり、操作できなくなることがあります。

ご注意

リモコンは暖房器具付近、ダッシュボードの上、座席の上、ヒーターの噴出し口付近など高温になる場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。変形、動作不良、故障の原因になります。

※他社製品を動作/作用させる可能性がありますのでご注意ください。



テレビとの接続方法

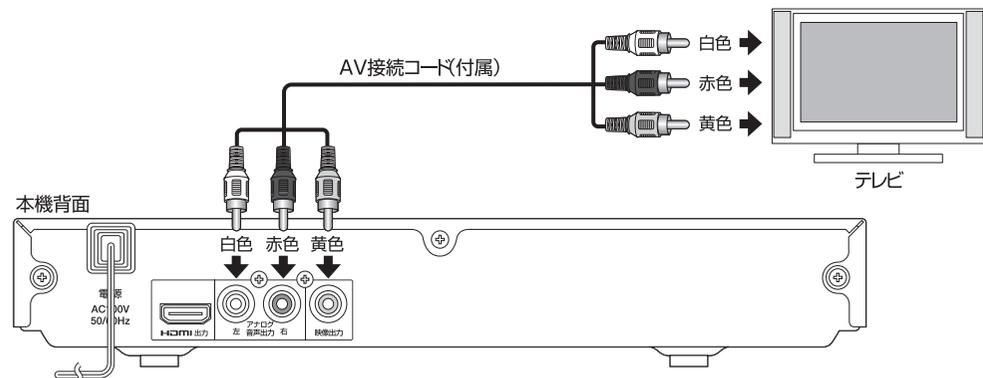
ご注意

- 接続するときは、必ずそれぞれの機器の電源を切って行ってください。
- 接続する外部機器の電源は別途配線してください。
- 使用するときは、必ず外部機器の電源を先に入れてください。
- 接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく接続してください。
- HDMIケーブルで接続し、HDMI解像度(P.33)を高く設定した場合でも、テレビやDVDディスクの規格などにより、設定通りの再生ができないことがあります。

AV接続コード(付属)で接続する場合

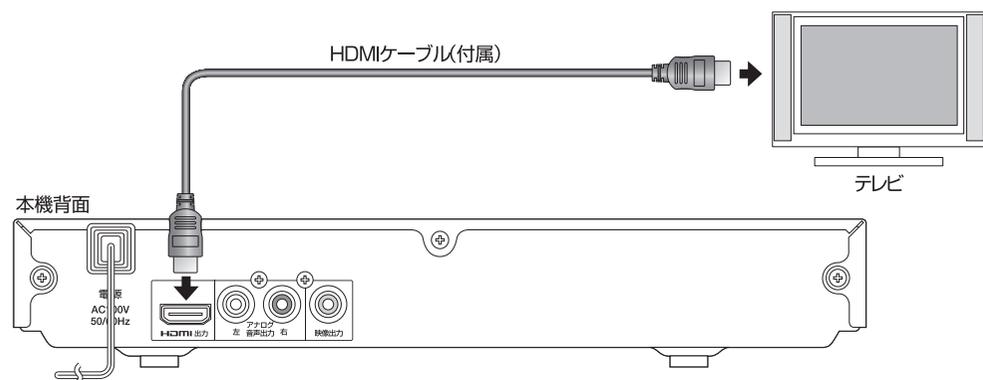
付属のAV接続コードを使って、本機背面のアナログ音声出力端子及び映像出力端子と、テレビ側のビデオ入力端子を接続します。

- ①白色のプラグを、本機、テレビ双方の音声左用端子(白色の端子)に接続してください。
- ②赤色のプラグを、本機、テレビ双方の音声右用端子(赤色の端子)に接続してください。
- ③黄色のプラグを、本機、テレビ双方の映像用端子(黄色の端子)に接続してください。



HDMIケーブル(付属)で接続する場合

HDMIケーブル(付属)を使って、本機背面のHDMI出力端子とテレビ側のHDMI入力端子を接続します。



ヒント

ワイドテレビに接続した場合は、セットアップメニューの設定で、一般設定>画面モードに進み、「ワイド」に設定してください。

オーディオ機器との接続方法

映像をテレビ(モニター)で映し、音声をオーディオ機器で聴く場合

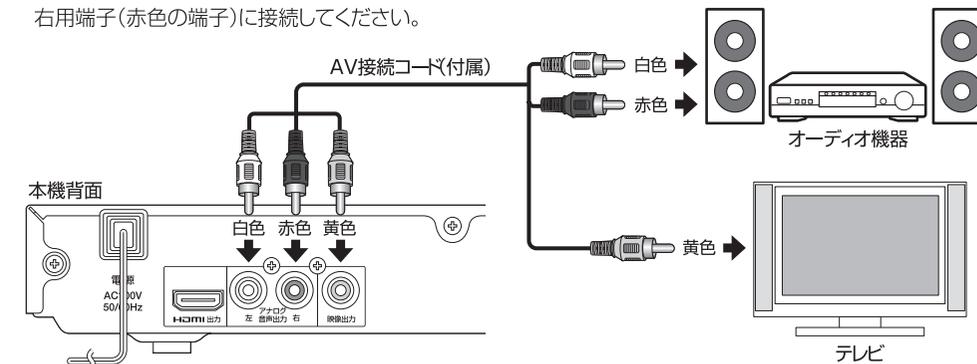
【音声に関する接続】

付属のAV接続コードを使って、本機背面のアナログ音声出力端子とオーディオ機器の音声入力端子を接続します。

- ①白色のプラグを、本機、オーディオ機器双方の音声左用端子(白色の端子)に接続してください。
- ②赤色のプラグを、本機、オーディオ機器双方の音声右用端子(赤色の端子)に接続してください。

【映像に関する接続】

③付属のAV接続コードにある黄色のプラグを、本機の映像出力端子(黄色の端子)と、テレビまたはモニターの映像入力端子(黄色の端子)にそれぞれ接続してください。



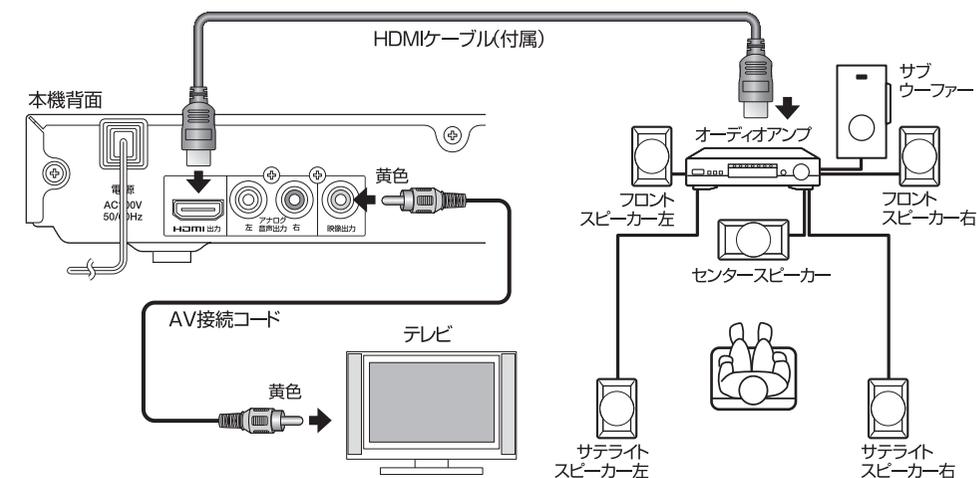
映像をテレビ(モニター)で映し、音声をドルビーデジタルシステム(5.1ch)対応機器で聴く場合

【音声に関する接続】

HDMIケーブル(付属)を使って、本機背面のHDMI出力端子と、ドルビーデジタルシステム(5.1ch)対応オーディオ機器のHDMI入力端子を接続します。

【映像に関する接続】

AV接続コード(黄色のプラグ)を、本機の映像出力端子(黄色)とテレビまたはモニターの映像入力端子(黄色)にそれぞれ接続します。



ヒント

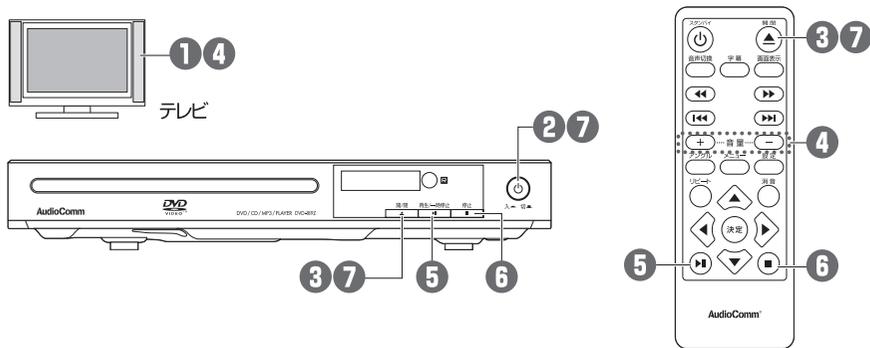
5.1chとは、視聴者を囲むように設置された6つのスピーカーによって、音を再生する音響システム構成のことです。前方面、前方左右、後方左右のスピーカー、そして低音を強化するサブウーファーという6本のスピーカーで構成され、音の立体感が増し、臨場感にあふれた音響効果を楽しむことができます。このサブウーファーは低音のみを再生するため0.1チャンネルとカウントされ、合計で5.1チャンネルとなります。

映像再生時の基本操作

DVDに記録された映画・音楽映像・映像記録などを再生できます。

- 本機は、DVDに記録された映画や音楽映像、動画などの再生ができます。再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7～P.9をご確認ください。
- 規格以外の特殊なディスクは、再生できませんのでご注意ください。
- DTS(Digital Theater Systems)でのみ録音されているディスクは、再生できません。
- 本書内の本機画面のイラスト(マークや文字、マークや文字の場所、内容など)は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12～P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行ってから以下の操作をしてください。



1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える
複数の入力端子を持つテレビやモニターに接続した場合などは、それに応じた入力ソースをテレビ(モニター)側で設定してください。

2 本機の電源ボタンを押し込んで電源を入れる
「on」表示が続いて、ディスクの読み込みが始まります(「LORd」表示)。ディスクが入っていないときは「nO dS」と表示されます。

3 本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、DVDをセットする
レーベル面を上にしてセットしてください。セットしたらもう一度本機またはリモコンの開閉ボタンを押して、トレイを閉めます。
ディスプレイに「LORd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

4 リモコンの音量ボタン(+/-)で音量を調節する
●本機の音量調節機能は、本機からの音量出力レベルを調節するものであり、テレビ自体の音量を調節するものではありません。
●音量はテレビ側と本機側のどちらでも調節できますが、本機側の音量が小さい状態でテレビ側の音量を大きくすると、通常の放送受信に戻ったとき、突然大きな音が出るおそれがありますのでご注意ください。

5 再生中に一時停止するには
本機またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押す
DVD一時停止
もう一度押すと、再生を再開します。

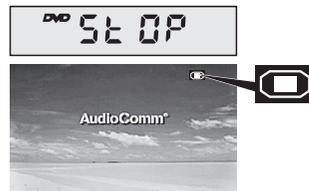
6 再生を停止するには
本機またはリモコンの停止ボタンを押す



●停止ボタンを1回押すと、テレビ(モニター)の画像がトップ画面になります。この状態で再生/一時停止ボタンを押すと、停止したときの続きから再生を始めます。



●停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生/一時停止ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。



7 終了するときには
本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを取り出す



開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、本機の電源ボタンを押して電源を切る
本機の電源ボタンをしっかりと押して電源を切ってください。

- ヒントとご注意**
- メディアによっては、最初にメニュー画面が表示されることがあります。その場合はお好みの内容をカーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押して再生を開始してください。
 - DVDの2層ディスクを再生中に、映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので故障ではありません。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。
 - ディスクに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
 - 再生プログラムが備わっているDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
 - 本機での再生に適していないディスクを挿入した場合は再生されません。ディスクのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
 - 携帯電話を本機やテレビの近くで使用しないでください。異音や映像にノイズが出る場合があります。
 - リモコンのスタンバイボタンを押して電源を切った場合はスタンバイモードになり、もう一度スタンバイボタンを押すと電源が入ります。スタンバイ状態でも電力を消費しますので、すぐに使わないときは必ず本機の電源ボタンを押して電源を切ってください。また、長期間使わないときは、本機側で電源を切った後、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

映像を観る

映像を観る

メニュー



再生中または停止中にメニューボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。この機能はディスクメニューが収録されているディスクのみ有効です。

●表示されたディスクメニューを見ながら、カーソルボタン(▲/▼/▶/◀)でお好みのメニューを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すと選択が確定します。

●ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。



ご注意

- ディスクメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約5秒後に消えます。
- ディスクによっては、機能しないものもあります。
- この機能は対応ディスクのみ有効です。

アングル



複数のカメラアングルでの映像が収録されているディスクの場合、アングルボタンを押すことで、別アングルからの映像を楽しむことができます。



アングルマークが表示されている間のみ、この機能は有効です。

ご注意

- この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されているアングル数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。(アングル数が2の場合: 1/2)
- アングルボタンを押したときに、無効マーク(⊘)が表示された場合は、カメラアングルを変更することはできません。
- アングルマークが反応しないときは、セットアップメニューの「一般設定」>「アングルマーク」がオンになっているか確認してください。
- アングルマーク表示は約5秒後に消えます。
- ディスクによっては、アングルマークが表示されていても切り換えができなかったり、別アングル映像の収録が部分的で限定されている場合があります。

音楽 / 音声再生時の基本操作

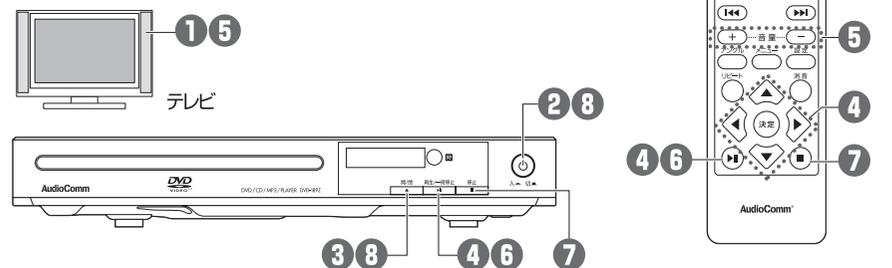
オーディオCDやCD-R/RWに記録された音楽や音声などを再生できます。

●再生できるメディアタイプやファイル形式についてはP.7~P.9をご確認ください。

※対応する形式であっても、すべてのファイルの動作を保証するものではありません。

●本書内の本機画面のイラスト(マークや文字、マークや文字の場所、内容など)は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12~P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行ってから以下の操作をしてください。



1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える
複数の入力端子を持つテレビやモニターに接続した場合などは、それに応じた入力ソースをテレビ(モニター)側で設定してください。

2 本機の電源ボタンを押し込んで電源を入れる



「on」表示に続いて、ディスクの読み込みが始まります(「LORd」表示)。ディスクが入っていないときは「n0 dS」と表示されます。

3 本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、CDをセットする



セットしたらもう一度本機またはリモコンの開閉ボタンを押して、トレイを閉めます。

ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが始まります。

4 セットしたメディアによって、テレビ(モニター)画面の表示や読み込み後の動作が異なります



自動的に再生が始まります。



ファイル名などがリスト表示されます。(左はフォルダー階層なし場合の例)。表示内容や操作方法の詳細はP.22を参照してください。

自動では再生が始まりません。
カーソルボタン(▲/▼)でファイルを選び、再生/一時停止ボタンを押すと、再生が始まります。

音楽 / 音声再生時の基本操作 (つづき)

5 リモコンの音量ボタン(+/-)で音量を調節する



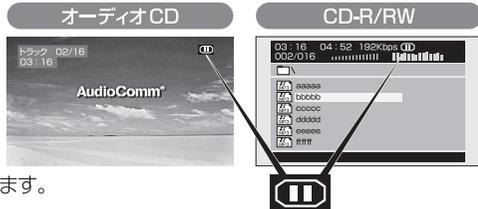
- 本機の音量調節機能は、本機からの音量出力レベルを調節するものであり、テレビ自体の音量を調節するものではありません。
- 音量はテレビ側と本機側のどちらでも調節できますが、本機側の音量が小さい状態でテレビ側の音量を大きくすると、本機との接続を解除し通常の放送受信に戻ったとき、突然大きな音が出るおそれがありますのでご注意ください。

6 再生中に一時停止するには

本機またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押す

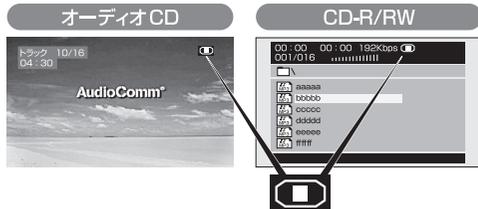


もう一度押すと、再生を再開します。



7 再生を停止するには

本機またはリモコンの停止ボタンを押す



ヒント

- オーディオ CD の場合、停止ボタンを1回押すと再生が止まります。この状態で再生/一時停止ボタンを押すと、停止したときの続きから再生を始めます。
- 停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になり、この状態で再生/一時停止ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。
- MP3などを記録したCD-R/RWの場合は、1回の停止操作で完全停止になります。

8 終了するとき

本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを取り出す



開閉ボタンを押してディスクトレイを閉じ、本機の電源ボタンを押して電源を切る
本機の電源ボタンをしっかりと押して電源を切ってください。

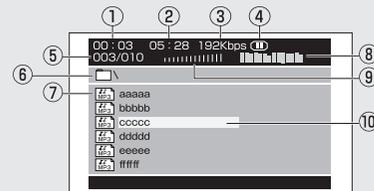
ヒントとご注意

- 自動で再生が始まらない場合は、再生/一時停止ボタンを押して、再生を開始してください。
- ディスクに汚れやキズがあると、音が飛んだり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- リモコンのスタンバイボタンを押して電源を切った場合はスタンバイモードになり、もう一度スタンバイボタンを押すと電源が入ります。スタンバイ状態でも電力を消費しますので、すぐに使わないときは必ず本機の電源ボタンを押して電源を切ってください。また、長期間使わないときは、本機側で電源を切った後、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

ヒント CD-R/RWを再生するときの画面表示例

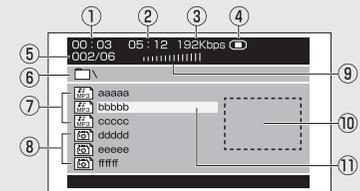
MP3の音楽ファイルを含むCD-R/RWディスクを挿入したときには、下図のように表示されます。再生、一時停止、停止の操作は、オーディオCDと同じです(P.20~P.21参照)

フォルダー階層なしの場合



- ①経過時間
- ②ファイルの収録時間
- ③ビットレート
- ④動作ステータス(図は一時停止)
- ⑤現在のファイル番号/総ファイル数
- ⑥ルートフォルダー表示
- ⑦ファイルタイプ・ファイル名
- ⑧イルミネーション(再生中のみ表示)
- ⑨音量レベル
- ⑩カーソル

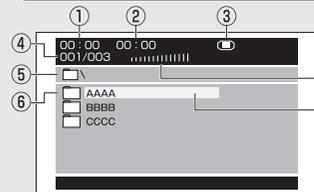
複数のファイルタイプが混在する場合



- ①経過時間
- ②ファイルの収録時間
- ③ビットレート(読み直後は非表示)
- ④動作ステータス(図は停止中)
- ⑤現在のファイル番号/フォルダー内のファイル数
- ⑥ルートフォルダー表示
- ⑦MP3のファイルマーク/ファイル名
- ⑧JPEGのファイルマーク/ファイル名
- ⑨音量レベル
- ⑩サムネイル(画像ファイル時のみ表示)
- ⑪カーソル

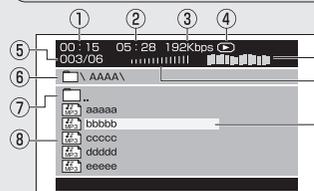
フォルダー階層ありの場合

フォルダリスト表示



- ①経過時間
 - ②ファイルの収録時間
 - ③動作ステータス(図は停止中)
 - ④フォルダー番号/総フォルダー数
 - ⑤ルートフォルダー表示※1
 - ⑥フォルダー名
 - ⑦音量レベル
 - ⑧カーソル
- ※1 ルートフォルダーマーク(□)が表示されているときは、いちばん上の階層を表示中であることを示しています。

フォルダ内のファイルリスト表示



- ①経過時間
 - ②ファイルの収録時間
 - ③ビットレート(読み直後は非表示)
 - ④動作ステータス(図は再生中)
 - ⑤現在のファイル番号/フォルダー内のファイル数※2
 - ⑥選択中のフォルダー名
 - ⑦サブフォルダーマーク
 - ⑧ファイルタイプ/ファイル名
 - ⑨イルミネーション(再生中のみ表示)
 - ⑩音量レベル
 - ⑪カーソル
- ※2 総ファイル数はフォルダー内のファイル数+1(サブフォルダー)の数が表示されます。

	リスト内の上のフォルダー(ファイル)にカーソル移動		リスト内の下のフォルダー(ファイル)にカーソル移動
	ファイル選択時(停止時): 上位のフォルダー階層に戻る ファイル再生中: 再生を続けながら上位のフォルダーを表示		フォルダー選択時: フォルダの中身を表示 サブフォルダー選択時: 一つ上のフォルダー階層に移動
	フォルダー選択時: フォルダの中身を表示 サブフォルダー選択時: 一つ上のフォルダー階層に移動		フォルダー選択時: フォルダの中身を表示 サブフォルダー選択時: 一つ上のフォルダー階層に移動

ご注意

- 各ボタン操作の機能は、フォルダー・ファイルの構成によって異なります。また、ボタン操作後、次の画面を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- ファイル名と共に表示されるアイコンは、ファイル形式によって異なる場合があります。
- ファイルの種類ごとに区分けされず、ランダムに表示される場合があります。
- 多くのファイルが存在する場合、カーソルボタン(▼)によってカーソルを最下段に移動させ、さらにカーソルボタン(▼)を押すことで、次のファイルリストを表示することができます。

■ 早送り・早戻し

早送り



再生中に早送りボタンを押すと、早送りができます。

●ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。

●早送りの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早送り中は音声は出ません。

※ファイルをまたぐ早送りはできません。

早戻し



再生中に早戻しボタンを押すと、早戻しができます。

●ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍、32倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。

●早戻しの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早戻し中は音声は出ません。

※ファイルをまたぐ早戻しはできません。

■ スキップ(▶▶/◀◀)

スキップ(▶▶)



再生中にスキップボタン(▶▶)を押すと、次のファイルに進んで再生します。

スキップ(◀◀)



再生中にスキップボタン(◀◀)を押すと、ファイルの先頭に戻って再生します。ディスクによっては、一つ前のファイルに戻って再生するタイプもあります。

■ 消音



再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。

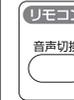
※消音を解除するとき、一時的に「ミュートオフ」と表示されます。

■ リピート



再生中または停止中にリピートボタンを押すと、特定のフォルダーまたはファイル(曲)を繰り返し再生することができます。リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。

■ 音声切換



再生中に音声切換ボタンを押すと、出力音声を切り換えることができます。

■ 画面表示



再生中に画面表示ボタンを押すと、そのCDに関する様々な情報を表示することができます。押すたびに表示内容が変わります。

※フォルダの構成や設定状況によって表示内容が異なる場合があります。

※上記の表示は約5秒後に消えます。

画像再生時の基本操作

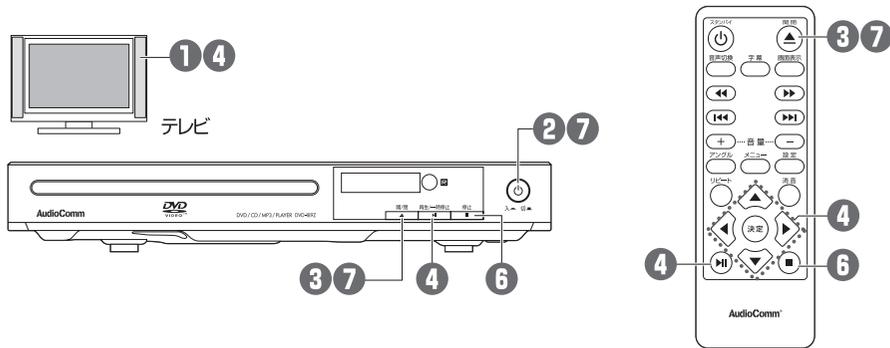
CD-R/RWに記録された画像ファイルを再生できます。

●再生できるファイル形式についてはP.7～P.9をご確認ください。

※対応する形式であっても、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。

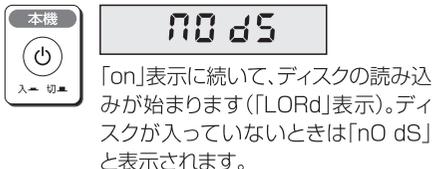
●本書内の本機画面のイラスト(マークや文字、マークや文字の場所、内容など)は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12～P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行ってから以下の操作をしてください。

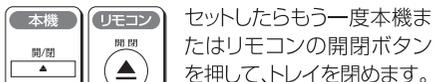


1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力ソースに切り換える
複数の入力端子を持つテレビやモニターに接続した場合などは、それに応じた入力ソースをテレビ(モニター)側で設定してください。

2 本機の電源ボタンを押し込んで電源を入れる



3 本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスプレイを開け、CDをセットする



ディスプレイに「LORd」と表示され、読み込みが終わるとリスト画面が表示されます。

4 リモコンのカーソルボタン(▲/▼)で再生したいファイルを選んで、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押す(=スライドショー再生開始)



- 本機ではCD内(フォルダー内)に記録されている画像をスライドショー形式で再生します。
- フォルダーの選択のしかたは、P.22をご参照ください。
- 再生間隔は約5～10秒です。再生間隔を変更することはできません。
- 画像ファイルのデータ量が大きい場合は、読み込みや表示間隔が遅くなることがあります。



5 再生時の様々な表示切換

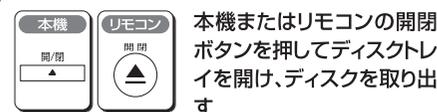
	次の画像へ		表示中の画像を上下反転
	前の画像へ		表示中の画像を左右反転
	スライドショーを一時停止(もう一度押すと再開)		表示中の画像を反時計回りに90°回転
	スライドショーを停止(ファイルリストを表示)		表示中の画像を時計回りに90°回転

6 再生を停止するには
本機またはリモコンの停止ボタンを押す



停止ボタンを押すと、ファイルリスト表示画面に戻ります。

7 終了するとき



本機またはリモコンの開閉ボタンを押してディスプレイを開け、ディスクを取り出す

開閉ボタンを押してディスプレイを閉じ、本機の電源ボタンを押して電源を切る
本機の電源ボタンをしっかりと押して電源を切ってください。

ヒントとご注意

- 画像が完全に表示されるまで、ボタン操作は無効になります。
- 自動で再生が始まらない場合は、再生/一時停止ボタンを押して、再生を開始してください。
- ディスクに汚れやキズがあると、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- 本機での再生に適していないメディアを挿入した場合は再生されません。メディアのタイプやファイル形式をご確認のうえご使用ください。
- リモコンのスタンバイボタンを押して電源を切った場合はスタンバイモードになり、もう一度スタンバイボタンを押すと電源が入ります。スタンバイ状態でも電力を消費しますので、すぐに使わないときは必ず本機の電源ボタンを押して電源を切ってください。また、長期間使わないときは、本機側で電源を切った後、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

ヒント 音楽を再生しながら、画像を見る
ディスク内の画像と音楽を同時に再生できます。

1 音楽ファイルを再生する

P.20～P.24を参照して、好きな曲を選んでください。



2 画像ファイルを再生する

ファイルリスト内の画像ファイルをカーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すと、スライドショー再生がはじまります。



- 別のフォルダーにある画像ファイルを再生する場合は、停止ボタンを押したあとに、任意のフォルダー内のファイルを選んで再生してください。
- 画像ファイルの再生を開始すると、ボタン操作は画像に対する操作となります。
- 画像ファイルのスライドショー再生中は音楽ファイルの操作することはできません。停止ボタンを1回押してファイルリスト表示にすると、音楽ファイルの選択や再生ができます。
- 音楽・画像のそれぞれにリピートモードを設定できます。

■ セットアップメニューの概要

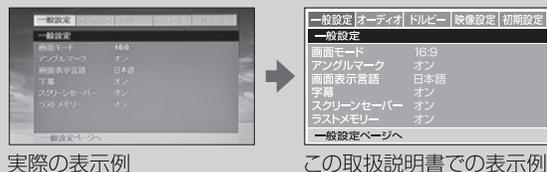
セットアップメニューの操作はすべてリモコンで行います。

本機はお買上げのままで使用できますが、必要に応じて映像・音声の出力方式や再生に関する様々なオプションの設定ができます。

■ ご注意

- セットアップメニューの設定はディスクを装着しない状態で行ってください。セットした状態では、一部の項目の設定ができません。
- 再生中にセットアップメニューの設定を行った場合、設定終了後はトップ画面に戻らず、自動的に再生が再開されます。
- ディスクによって記録されている内容が異なりますので、設定できない項目があります。

セットアップメニューの画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため、右図のように簡略化した図版で示しています。



実際の表示例

この取扱説明書での表示例

■ 設定一覧

【一般設定】	掲載ページ	概要	設定可能項目
画面モード	P.28	画面の表示モードを設定します。	・ 4:3パンスキャン ・ 4:3レターボックス ・ ワイド
アングルマーク	P.29	アングルマーク表示のオン/オフを設定します。	・ オン ・ オフ
画面表示言語	P.29	セットアップメニューの表示言語を設定します。	・ 英語 ・ 日本語
字幕	P.30	字幕表示のオン/オフを設定します。	・ オン ・ オフ
スクリーンセーバー	P.30	スクリーンセーバーのオン/オフを設定します。	・ オン ・ オフ
ラストメモリー	P.31	ラストメモリーのオン/オフを設定します。	・ オン ・ オフ

【オーディオ】	掲載ページ	概要	設定可能項目
ダウンミックス	P.31	ミックスダウンの設定をします。	・ LT / RT ・ ステレオ

【ドルビー】	掲載ページ	概要	設定可能項目
デュアルモノ	P.32	本機から出力する音声を設定します。	・ ステレオ ・ 左モノラル ・ 右モノラル ・ ミックスモノラル
ダイナミック	P.32	音声の再生音域を調節します。	※調整つまみで9段階調節

【映像設定】	掲載ページ	概要	設定可能項目
HDMI解像度	P.33	映像の細かさを設定します。	・ AUTO ・ 480i ・ 480P27 ・ 720P60 ・ 1080i60 ・ 1080P(60Hz)
画質設定	P.33~34	画質を設定します。	※シャープネス・明るさ・コントラストをそれぞれ設定

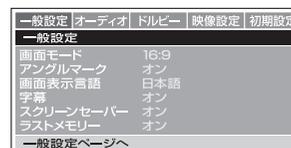
【初期設定】	掲載ページ	概要	設定可能項目
音声設定	P.35	音声の言語を設定します。	・ 英語 ・ 日本語
字幕設定	P.35	字幕の表示言語を設定します。	・ 英語 ・ 日本語
メニュー言語	P.36	メニューの表示言語を設定します。	・ 英語 ・ 日本語
初期化	P.36	本機の設定内容を破棄し、工場出荷時の状態に戻します。	

■ 画面モードの設定方法

画面の表示モードを設定します。

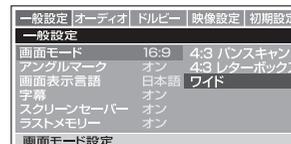
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



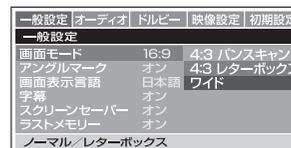
2 カーソルボタン(▼)を1回押す

【画面モード】が選ばれている状態になります。



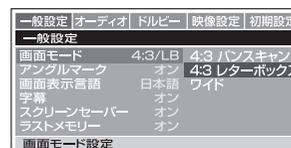
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



4:3パンスキャン 標準サイズのテレビ
16:9の映像は、左右が切れた映像で表示します(パンスキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します)。



4:3レターボックス 標準サイズのテレビ
16:9の映像は、上下に帯のある映像で表示します。



ワイド 16:9のワイドテレビ
ディスプレイ全体に映像を映します。



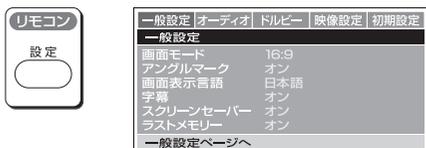
※通常のDVDの画像比率は16:9です。
※地デジ対応テレビ画像の比率は16:9です。

■ ■ ■ アングルマークの設定方法

アングルマーク表示のオン/オフを設定します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



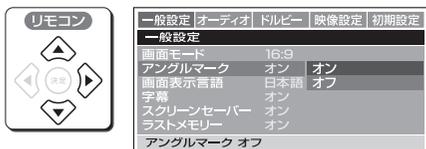
2 カーソルボタン(▼)を2回押す

【アングルマーク】が選ばれている状態になります。



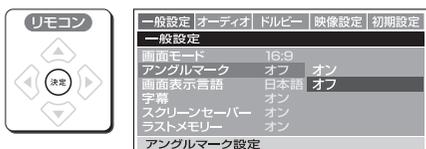
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

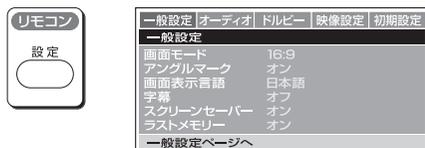


■ ■ ■ 画面表示言語の設定方法

設定画面の表示言語を選択できます。

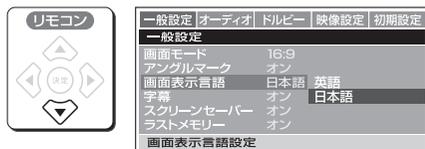
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



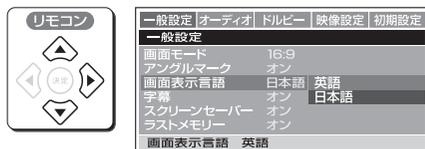
2 カーソルボタン(▼)を3回押す

【画面表示言語】が選ばれている状態になります。



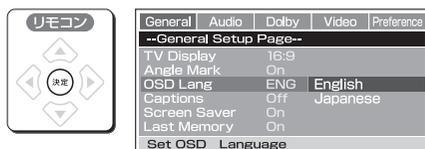
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定し、表示が英語に変わります。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

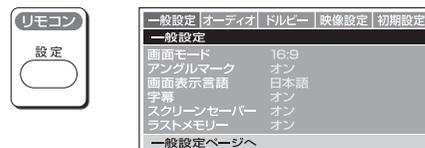


■ ■ ■ 字幕の設定方法

字幕表示のオン/オフを設定します。

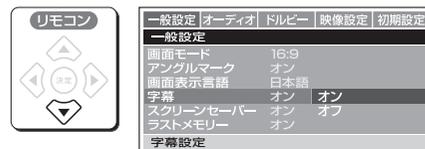
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



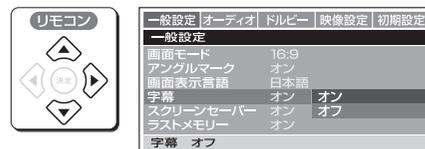
2 カーソルボタン(▼)を4回押す

【字幕】が選ばれている状態になります。



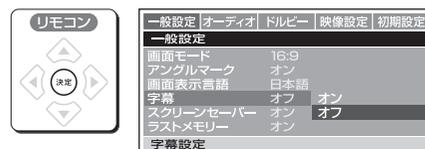
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

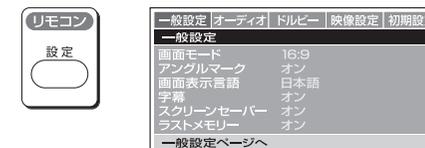


■ ■ ■ スクリーンセーバーの設定方法

スクリーンセーバーのオン/オフを設定します。テレビ(モニター)画面の焼き付きを防ぐため、通常はオンでご使用ください。

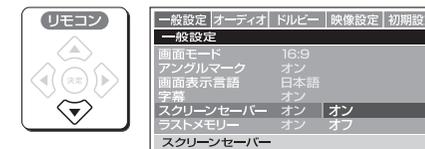
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▼)を5回押す

【スクリーンセーバー】が選ばれている状態になります。



現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

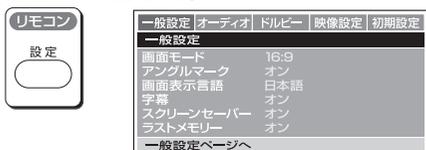


■ ラストメモリー(レジューム機能)の設定方法

ラストメモリーをオンにしておく、前回再生を停止した位置を記憶し、再度再生するとその続きから再生できます。

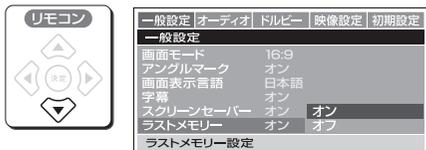
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



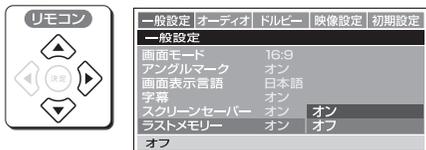
2 カーソルボタン(▼)を6回押す

【ラストメモリー】が選ばれている状態になります。



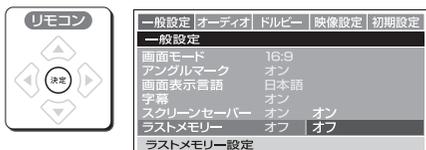
現在の設定が茶色の帯で表示されます。

3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)を設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



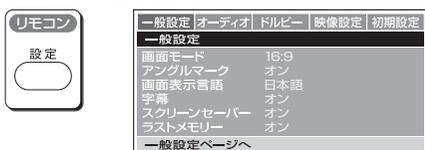
ご注意 以下の場合はラストメモリーが無効になります。
 ・電源プラグを抜いた場合
 ・ディスクを取り出した場合
 ・ディスクによっては停止ボタンを2回続けて押した場合も無効になることがあります。

■ ダウンミックスの設定方法

ダウンミックスの設定ができます。
 ※ダウンミックスとは、サラウンドの音源を2チャンネルステレオで聴く場合など、音声をオリジナルのフォーマットで再生できない場合に、制作者の意図した再生をオリジナルより少ないチャンネル数で行うことです。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

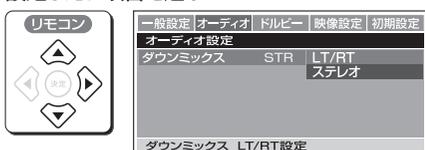


2 カーソルボタン(▶)を1回押しした後、カーソルボタン(▼)を1回押す

【ダウンミックス】が選ばれている状態になります。



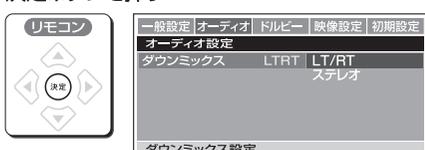
3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)を設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
LT/RT	左チャンネル/右チャンネルのみをモノラル再生。
ステレオ	左右のチャンネルでステレオ再生。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

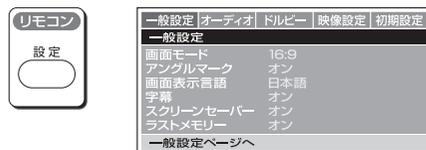


■ デュアルモノの設定方法

本機から出力する音声を設定します。

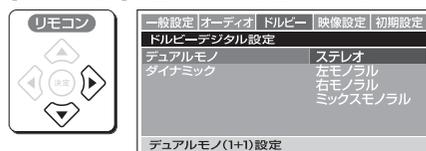
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

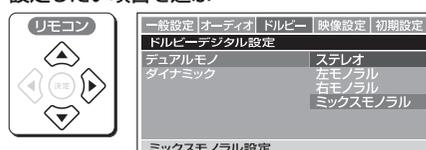


2 カーソルボタン(▶)を2回押しした後、カーソルボタン(▼)を1回押す

【デュアルモノ】が選ばれている状態になります。



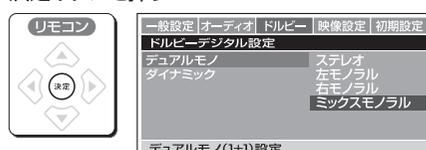
3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)を設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
ステレオ	ステレオ出力
左モノラル	L音声をモノラル出力
右モノラル	R音声をモノラル出力
ミックスモノラル	L/Rの音声をミックスしてモノラル出力

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



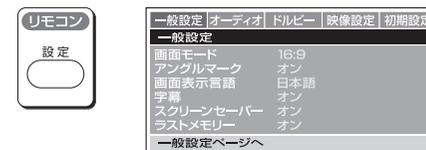
ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

■ ダイナミックの設定方法

ダイナミックレンジとは、ひずみや雑音などなしに再生できる範囲のことで、値が大きいほど広い音域の再生ができます。

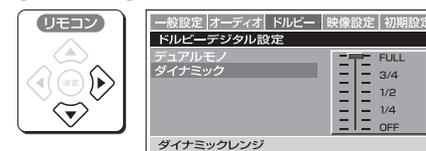
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

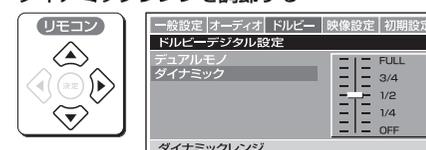


2 カーソルボタン(▶)を2回押しした後、カーソルボタン(▼)を2回押す

【ダイナミック】が選ばれている状態になります。

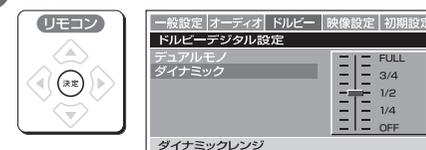


3 カーソルボタン(▶)を1回押しした後、カーソルボタン(▲/▼)を設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を1回押すと茶色のスライダー表示が黄色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を押すとスライダーが動きます(FULLからOFFまで9段階で調節できます)。
 ※初期設定はFULLになっています。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



ご注意 ステップ3でスライダーを変更した後に、設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

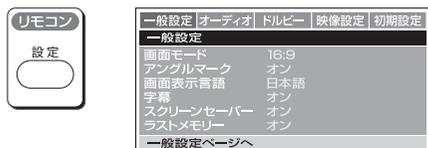
HDMI解像度の設定方法

映像の細かさを設定します。

※数値が大きいほど緻密なデータを送出しますが、テレビやDVDディスクの規格などにより、設定通りの再生ができない場合があります。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。



2 カーソルボタン(▶)を3回押した後、カーソルボタン(▼)を1回押す

【HDMI解像度】が選ばれている状態になります。



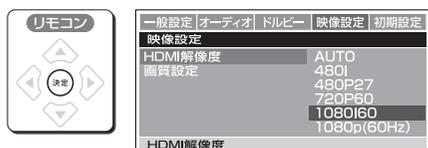
3 カーソルボタン(▶)を1回押し、さらにカーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きまわります(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

項目	内容
AUTO	テレビに合わせて自動設定します
480I	480インターレース方式
480P27	480プログレッシブ方式
720P60	720プログレッシブ方式
1080I60	1080インターレース方式
1080p(60Hz)	1080プログレッシブ方式

4 決定ボタンを押す



テレビ(モニター)表示が消え、リセットされた後、再び画面が表示されます。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

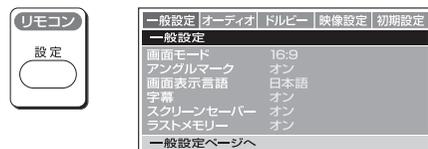


画質設定(シャープネス)の操作方法

映像のシャープネス(輪郭の明確さ)を調節します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

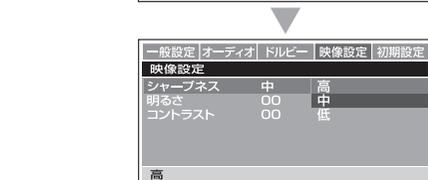


2 カーソルボタン(▶)を3回押した後、カーソルボタン(▼)を2回押す

【画質設定】が選ばれている状態になります。

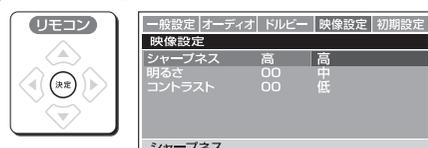


3 カーソルボタン(▶)を2回押した後、カーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を2回押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きまわります(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。

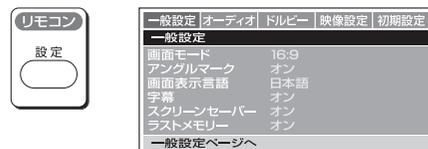


画質設定(明るさ)の操作方法

映像の明るさを調節します。+20~-20までの41段階で調節できます。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

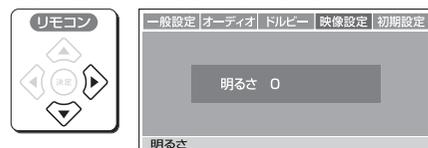


2 カーソルボタン(▶)を3回押した後、カーソルボタン(▼)を2回押す

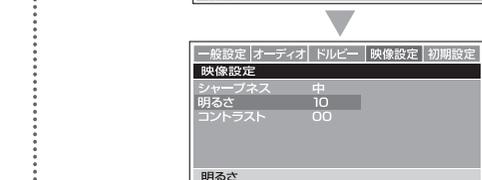
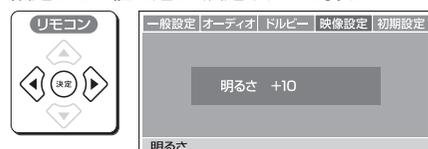
【画質設定】が選ばれている状態になります。



3 カーソルボタン(▶)を1回押した後、カーソルボタン(▼)で「明るさ」を選び、もう一度カーソルボタン(▶)を押す



4 カーソルボタン(▶/◀)で設定したい値を選び、決定ボタンを押す



5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



- ご注意**
- ステップ4の操作中は、カーソルボタン(◀)を押してもひとつ前の画面には戻りません。
 - ステップ4の操作で、数字を変更した後に設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

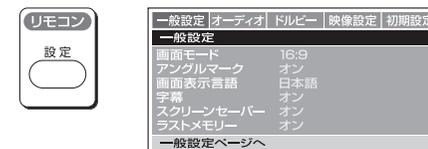
ヒント ひとつ前に戻るにはカーソルボタン(◀)を押します。また操作を中止してトップ画面に戻るには設定ボタンを押します。

画質設定(コントラスト)の操作方法

映像のコントラストを調節します。+16~-16までの33段階で調節できます。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

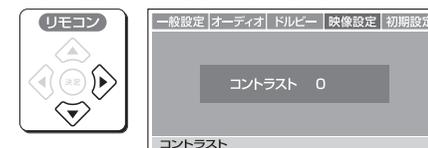


2 カーソルボタン(▶)を3回押した後、カーソルボタン(▼)を2回押す

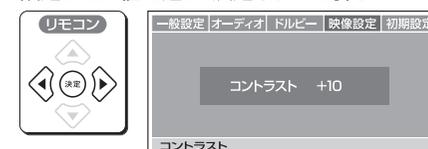
【画質設定】が選ばれている状態になります。



3 カーソルボタン(▶)を1回押した後、カーソルボタン(▼)で「コントラスト」を選び、もう一度カーソルボタン(▶)を押す



4 カーソルボタン(▶/◀)で設定したい値を選び、決定ボタンを押す



5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



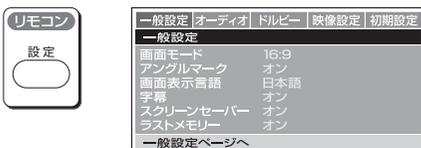
- ご注意**
- ステップ4の操作中は、カーソルボタン(◀)を押してもひとつ前の画面には戻りません。
 - ステップ4の操作で、数字を変更した後に設定ボタンを押して操作を中止した場合、変更後の設定が適用されます。

音声設定の操作方法

音声の言語を設定します。

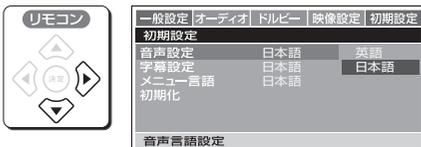
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

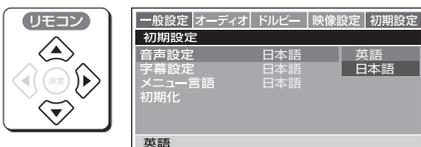


2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を1回押す

【音声設定】が選ばれている状態になります。

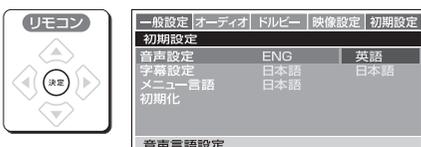


3 カーソルボタン(▶)を1回押し、 さらにカーソルボタン(▲/▼)で 設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



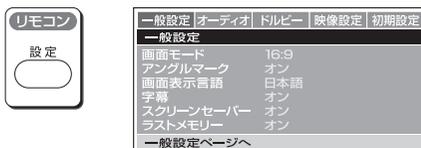
- ご注意**
- 一部のディスクでは音声言語の設定が利用できません。DVDに収録されているメニュー画面で設定してください。
 - 再生するディスクが対応していない言語は設定しても再生されません。

字幕設定の操作方法

字幕の表示言語を設定します。

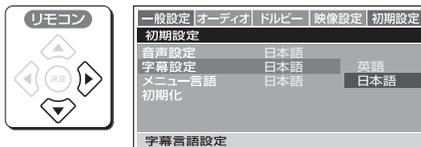
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

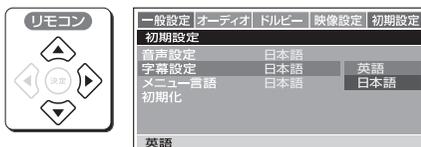


2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を2回押す

【字幕設定】が選ばれている状態になります。

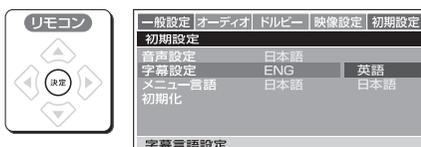


3 カーソルボタン(▶)を1回押し、 さらにカーソルボタン(▲/▼)で 設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



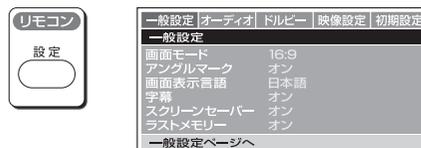
- ご注意**
- 一部のディスクでは字幕言語の設定が利用できません。DVDに収録されているメニュー画面で設定してください。
 - 再生するディスクが対応していない字幕言語は設定しても表示されません。

メニュー言語の設定方法

メニューの表示言語を設定します。

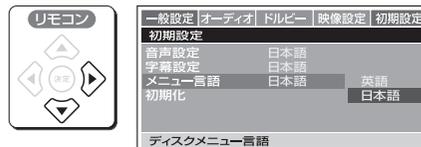
1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

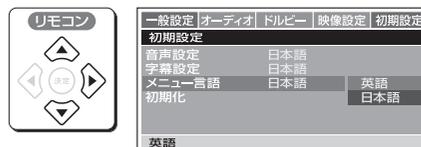


2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を3回押す

【メニュー言語】が選ばれている状態になります。

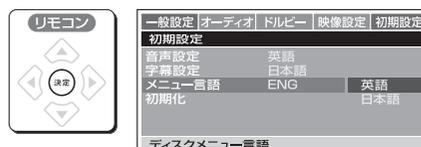


3 カーソルボタン(▶)を1回押し、 さらにカーソルボタン(▲/▼)で 設定したい項目を選ぶ



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、カーソルボタン(▲/▼)を動かすと緑色の帯が動きます(この間も、それまでの設定が茶色の帯で表示されます)。

4 決定ボタンを押す



新しい設定が確定します。

5 設定ボタンを押して終了する

トップ画面に戻ります。



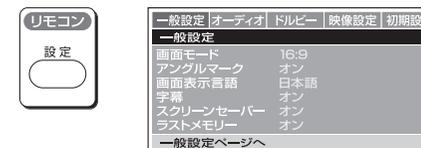
- ご注意**
- 再生するディスクが対応していない言語は設定しても表示されません。

初期化の操作方法

本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

1 設定ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

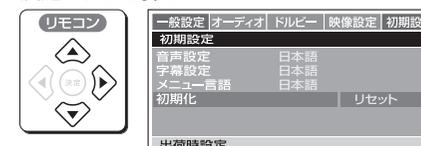


2 カーソルボタン(▶)を4回押した後 カーソルボタン(▼)を4回押す

【初期化】が選ばれている状態になります。



3 カーソルボタン(▶)を1回押し、 決定ボタンを押す



カーソルボタン(▶)を押すと茶色の帯が緑色に変わります。その後、決定ボタンを押すと初期化が始まり、終了するとトップ画面に戻ります。

ご注意

初期化を行うと、それまでにお客様が設定した内容がすべて失われますので、十分ご注意ください。

故障かなと思ったら

電源に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
電源が入らない	・電源プラグがはずれていませんか？	→配線を再確認する
	または断線していませんか？	
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？	→新しい乾電池と交換する
	・リモコンの乾電池が正しく入っていますか？	→乾電池の⊕⊖の向きを確認する

再生画質・音質に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
画像が出ない	・接続機器の電源は入っていますか？	→接続機器の電源を確認する
	・配線は正しく接続されていますか？ また、断線したりははずれていませんか？ 本機とテレビは直接接続されていますか？	→接続を再確認する
	・画像の出ないディスクが入っていませんか？	→本機で再生可能なディスクか確認する
	・テレビの入力切替は正しいですか？	→正しく切り換える
	・明るさは正しく調整されていますか？	→正しく調整する
画面が暗い	・コントラストは正しく調整されていますか？	→正しく調整する
	・温度が5℃以下になっていませんか？	→正常温度になるまで使わない
	・他のAV機器との接続を間違えていませんか？	→接続を確認する(AV機器の取扱説明書を参考に)
	・電源を1箇所から集中して接続していませんか？	→各機器の電源接続を分散する
映像にノイズやゆがみ・乱れが出る	・ディスクが汚れていたり、傷がありませんか？	→ディスクを確認する
	・携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか？	→本機から離して使用する
画面の縦方向が縮小している	・セットアップメニューの画面モードの設定が4:3になっていませんか？	→ワイドに設定変更する(P.28参照)
再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 ・元の画像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ・ディスク上の物理エラーによる場合	
字幕が表示されない	・字幕の入ったディスクのみ表示します。	→字幕が入っているかどうか確認する
	・セットアップメニューの字幕言語の設定が「オフ」になっていませんか？(P.30)	→「オン」に変更する
雑音が聞こえる	・近くで携帯電話を使用していませんか？	→携帯電話を本機から離して使用する

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
DVDやCDの再生ができない	・記録されているフォーマットが未対応、または本機で再生できるリージョン番号でないディスクではありませんか？	→ディスクを確認する
	・ディスクに汚れやキズが付いていませんか？	→P.40を参考にディスクをクリーニングする、または交換する

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
市販のDVDを再生しているとき、音声切替ボタンを押しているのに音声が日本語に切り換わらない	・DVDビデオに日本語の音声が入っていますか？ ※音声切替ボタンでの切替はディスクによっては制限されている場合があります。	→ディスクを確認する →DVD側のメニュー画面から、音声を切り換える
各ボタン操作ができない	・落雷や静電気の影響により、本機が正常に動作しないことがあります。また、特定の操作を禁止しているディスクもあります。	→本機の電源を一度切/入する。 または電源を切って、リモコンの乾電池を取り外し、もう一度入れる
リモコン操作ができない	・リモコンに乾電池は入っていますか？	→乾電池を入れる
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？	→乾電池を新しいものと交換する
	・本機の信号受信部に向けて操作していますか？	→信号受信部に向けて操作する
	・信号受信部に強い光が当たっていませんか？	→光が当たらないよう向きを変える
	・リモコンと信号受信部が遠すぎませんか？	→約4m以内、上下左右30℃以内のところで操作する
	・リモコンと信号受信部の間に障害物はありませんか？	→障害物を取り除く
音が出ない(接続機器の音が出ない)	・乾電池が正しく入っていますか？	→乾電池の⊕⊖の向きを確認する
	・「消音」したままになっていませんか？	→消音を解除する
	・接続を間違えていませんか？	→接続を再確認する
	・接続先の機器の音量が最小になっていませんか？	→音量レベルを上げる
	・接続先の機器の電源は入っていますか？	→電源を確認して入れる(ONにする)
	・接続先の機器にヘッドホンが差し込まれていませんか？	→ヘッドホンを抜く
再生できない。またはすぐに停止する	・オーディオ出力機器の設定が間違っていないですか？	→設定を合わせる
	・寒い所から急に暖かい所に持ち込むと結露により再生できない場合があります。	→1~2時間放置する
	・ディスクが汚れていませんか？	→P.40を参考にディスクをクリーニングする
	・記録済みのディスクが入っていませんか？	→再生できるディスクかどうか、確認する
	・ディスクが正しくセットされていますか？	→ディスクを正しくセットする
	・2層ディスクが1層から2層に切り換わったような感じではありませんか？	→映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません
・原因がはっきりしない場合	→1. 停止ボタンを押してから再生ボタンを押してみる 2. 本機の電源を切り、電源プラグを家庭用コンセントから抜き、再度差し込んでから再生してみる	
すべての設定を買い上げ時に戻したい	—	→セットアップメニューの「初期化」を実行する(P.36)

用語解説

用語	説明
CPRM	コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。詳しくはP.7の「CPRMとは？」の項を参照してください。
JPEG	Joint Photographic Expert Groupの略で、JPEGと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの画像／音声はこの方法で記録されています。
MP3	音楽・音声のためのデジタル圧縮ファイルフォーマットのひとつ。データを極端な音質の劣化を伴わずに圧縮でき、パソコンをはじめ、CDプレーヤー・DVDプレーヤーでの再生も容易なことから現在の主流フォーマットのひとつになっています。
PCM	Pulse Code Modulation(パルス符号変調)。音声などのアナログ信号をパルス列に変換するパルス変調の一つ。
RCA端子・コード	中心部に金属のピンがあり、周囲に切込みのはいった金属がついている、AV機器接続用の端子・コード。本機に付属しているAV接続コードはステレオ音声左(白)、ステレオ音声右(赤)、映像(黄色)の各端子を、本機と外部機器、それぞれ同色の端子と接続すれば使うことができます。
VRモード	P.7の「ビデオモード、VRモードとは？」の項を参照してください。
アングル	同じ映像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。ディスク側にこのデータが含まれていないとこの機能は使えません。
スクリーンセーバー	テレビやモニターの焼き付けを防ぐために、一定時間静止画像が続くと、自動的に簡単な動画(またはアニメーションなど)が起動する機能です。
セットアップメニュー	本機でディスクを再生して楽しむための、映像・音声に関する出力設定やセットアップメニューの表示言語などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画などが入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
ドルビーデジタル(5.1ch)	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル音声出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル音声入力端子を接続する必要があります。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック(ファイル)	音楽用CDの各曲やJPEGデータの各画像をトラック(ファイル)といいます。
パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
リージョンコード(再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。

主な仕様

電源	本体：AC100V 50/60Hz 15W リモコン：単4形乾電池×2本
信号方式	NTSC
接続端子	RCA出力ジャック(映像／音声)、HDMI出力端子
使用動作環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
外形寸法	幅260×高さ45×奥行198mm(突起物を除く)
質量	約1050g
付属品	リモコン、動作確認用単4形乾電池(2本)、AV接続コード(RCA)、HDMIケーブル(約1.4m長)、取扱説明書(保証書付)

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れのしかた



お手入れの際には必ず電源の配線ははずしてください。感電の原因となることがあります。

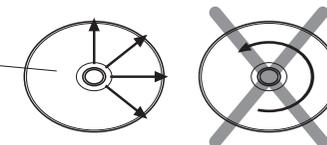
キャビネットの清掃

- キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、その後からぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- ディスプレイは乾いた柔らかい布で軽くふいてください。濡れた布などは、内部に水が入り故障の原因となりますので使わないでください。

ディスクのお手入れ

- 本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側に放射状にふいてください。
- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電気防止剤は絶対に使用しないでください。
 - 他の洗剤などをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

必ず内側から
外側へふく



よくあるご質問

Q 5.1ch 音声を楽しむために必要な機器は？

A ドルビーデジタルのある AV アンプ (5.1ch 音声出力端子付き) と接続します。

Q 海外でも使用できますか？

A 国内使用のみです。

Q 病院で使えますか？

A 本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。

Q 海外で買った DVD ビデオを再生できますか？

A リージョンコードが「2」を含むか「ALL」で、映像方式が NTSC であれば、再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。

